

枝川スタッフが選んだおすすめ本

# 枝川の本棚

★5月のピックアップ★

『あなたのモヤモヤに効く世界文学』

堀越英美/著 筑摩書房

ISBN: 978-4-480-81593-4



恋愛や結婚、育児、仕事に介護……。誰しもが一度は直面するいろいろな悩み。実はあの有名な作品の「完璧でなく人間くさい登場人物」たちに共感したり、客観的に観察したりすることで解決の糸口を見つかることができるかもしれません。

この本では23問の架空のお悩み相談に対し、1問8ページほどで答えや作品の紹介が書かれています。悩みがある方にはもちろん、忙しくて最近あまり本が読めていない方やどんな本を読もうか迷っている方にもおすすめの一冊です。

## 一般書

『「ナンバー2」の日本史』

本郷和人/著 早川書房

ISBN: 978-4-15-340052-8

今年大河ドラマ「豊臣兄弟」は、豊臣秀吉を支えた弟の秀長を主人公としています。

本書は、そうした日本の歴史に登場するナンバー2にスポットを当て、なぜ彼らはトップを目指さずに権力を手にしたのかを解き明かしています。

ナンバー2とは何か、そして彼らは本当にナンバー2と言えたのか、そうした視点から歴史を考えてみるのも良いのではないのでしょうか。

『本の話はどこまでも』

青山美智子/語り手 根津香菜子/聞き手

朝日新聞出版

ISBN: 978-4-02-252118-7

2020年から5年連続で本屋大賞にノミネートされた作家、青山美智子さんをご存知ですか。作品の特徴に連作短編集というスタイルが挙げられます。

本書ではデビューまでの道のり、小説執筆のモットー、好きな作家や影響を受けた作品など、インタビュー形式で本にまつわる33の質問に答えていきます。

タイトルそのままに「本の話はどこまでも」とどまるどころを知らず、青山さんの魅力が詰まった一冊です。



# 児童書



『かぶと』

ふじかわともこ さく こうだんしゃ  
藤川智子/作 講談社

ISBN: 978-4-06-542616-6

こどもの目のかざり「かぶと」。いろいろなかたちがあるってしってる？さる、ちょう、うさぎ、えび、かに、さざえ……。

おもしろいかたちのかぶとが、次々でできます。そして、そのかたちには1つ1つ意味があるんだって。

みんなでよんで「どれが好き？」とくらべっこもできますよ。

お気に入りを見つけたら、まねしており紙でおったり絵をかいたり、かぶとづくりにちょうせんしてみよう！

0～5歳向け



『きょうおかいものにといたらね』

マイケル・ローゼン/文 ヘレン・オクセンバリー/絵

とうま やく とくましょてん  
当麻ゆか/訳 徳間書店

ISBN: 978-4-19-866142-7

おかいものにといたらなんだかへんだぞ？「にんじんください。」といたら、できたのは——あかいオウム！？

次のお店でも、またちがうものがでできます。ぼうしやさん、ようふくやさん、パンやさん……。行くたびに「ちがうよ！」といたくなる、おかしなできごとがつづきます。

こんどは何がでてくるか、よそうするのも楽しいですよ♪  
はたして、きょうのおかいものは、ぶじにぜんぶそろうので

しょうか？

3～5歳向け



# YA(ヤングアダルト)

『SSR チルドレン』

百舌涼一/著 講談社

ISBN: 978-4-06-541387-6



中学1年生の汐はひとりっ子。少し特別な事情で今の両親と暮らしています。そんな汐の友達は、大家族がいる幼馴染の佑大と、島育ちの転校生・美玖です。クラスの人気者で“普通の家族”がいる二人がうらやましい汐ですが、幸せそうに見える友達にも色々な悩みがあって…。

子どもがSSR級に少ない超高齢化社会で、特別な存在になりたいと悩む子どもたちの成長を描いた物語です。

小学5～6年生、中学生向け



枝川図書サービスコーナー

江東区枝川 3-6-16(枝川区民館1階)【TEL・FAX】03-3647-6860

【開館時間】9時～17時【休館日】月曜日・第3金曜日・祝日

2026年5月発行